

光星男子 劇的逆転

全国高校バスケットボール大会
 男子1回戦

八学光星	68
桐光学園	66
スコア	23201411 13171917

計36試合が行われた。青森 追い上げ、同点で迎えた試合は男子1回戦で八学光星が後半の猛反撃で桐光学園（神奈川）に逆転勝ちし、12点を追う第4Q、果敢な守備からの速攻で得点を重ねた。女子1回戦では柴田が、形勢をひっくり返した。第3日の25日は同体育館などで男子2回戦と女子3回戦計試合が行われる。八学光星は8点を追う第4クォーター（Q）に猛然と

（大阪）、女子の柴田は峻卓女と対戦する。
 （上村公徳）

終了ブザーと同時に決勝点

通算9度目の全国で初勝利 終盤、執念の猛攻

ハイライト

試合終了を待つブザー



【男子1回戦・桐光学園（神奈川）―八学光星】八学光星は試合終了と同時に雪田海児（奥）が勝ち越しのシュートを決めて68-66とする。東京体育館



ブザービーターでの劇的な逆転勝ちを果たし、喜びを爆発させる八学光星メンバー

たと話した。

た。

音と同時に2年生・雪田海児（奥）が決め手となった。選手、目立ち、第3クォーターの放ったジャンプシュートが、しっかりとリングを捉え、笑顔、泣き顔で喜びを分ち合った。中盤までは単調な攻撃が、ターナーが、前、半は個々レバばかりで、分けける猛反撃を繰り返す。残り1分、雪田の反則でフリーシューを打つ。追いつけなかった。延長も視野に入る。

（上村公徳）

中、速攻から雪田が僅千金のブザービーターで、挽回。雪田は「ミスを先取り返して良かった。まだ先輩たちとバスケットができることがうれしい」と感無量の様子だった。

インターハイ、ウィンターカップを合わせて通算9度目の挑戦でついに白星。古澤然主将は「最後まで走り続けたことが逆転につながった。これまでの練習を信じて、戦い切った」とうなづいていた。

ただ、選手たちは第4Qに執念を見せた。鋭いドライブで突っ込んで、相手守備をゴール下を集めてからアウトサイドにボールを散らさず作戦「キックアウト」を徹底。コートを広く使って内、外のシュートを打ち分けける猛反撃を繰り返す。

1占リードで迎えた試合残り1分、雪田の反則でフリーシューを打つ。追いつけなかった。延長も視野に入る。